



たんぽぽ

5月24日～26日に開催された
高知県高等学校総合体育大会で、
6団体・16個人が



優勝



皆さんの熱い応援が
力になりました！



中学女子卓球団体、全国の頂点に！

選抜大会で歴代最多 6 度目の優勝

(12面)



・・・6年生いのちのレッスン～救急法～・・・

6月10日、高校3年生を対象に「いのちのレッスン」が本校体育館で行われました。日本赤十字社から来ていただいた4名の講師の方からは、救急法（心肺蘇生とAEDの使い方）について講話と実技が行われました。

人物モデルを実際に使用し、心臓マッサージの仕方、AEDの使用方法について講師の先生方が実演したのち、6年生も真剣に体験を行いました。



・・・中学2年、3年のいのちのレッスン・・・



4月25日、中学2年生が牧野植物園を訪れました。前日は植物学者・牧野富太郎先生の誕生日。上河先生は「ご縁を感じますね」と話されました。牧野先生の奥様の名前にちなんだ植物や、業績について学び、生徒たちは感想文に思いを込めました。

学芸員さんの案内で園内を巡り、シロバナクズなど多くの植物に触れ、香りをかぎ、五感を使って自然を楽しみました。植物の奥深さと楽しさを体感した、思い出に残る一日となりました。

中学3年生は同日、「いのちのレッスン」として、坂本龍馬記念館と桂浜を訪れました。記念館では、学芸員の講話や展示の見学、上河先生のお話を通して、龍馬の志や生き方について深く学びました。「日本を今一度せんたくいたし申候」という言葉に、龍馬の情熱を感じた生徒も多く、刀やピストルの展示を真剣に見ている姿が印象的でした。上河先生の講話では、自分の生き方を考える時間も持ち、「感じることの大切さ」を実感していました。その後は桂浜へ移動し、龍馬像や雄大な海に感動しながら、昼食や自由時間を楽しみました。学びと体験がつまった、心に残る一日となりました。



6月5日、通学バスを利用する生徒を対象に避難訓練が行われました。高知・南国便のバスは竜キャンパスで池下先生から、須崎便は横浪県立自然公園帷子崎で尾留川先生から避難についてのお話がありました。地震発生時の対応として、竜キャンパス付近ではヘリポートへの避難。また、バス走行中に地震が起きた場合は、バスが停止し、揺れが収まるまで頭部を保護する行動をとるよう呼びかけました。その後は運転手さんの指示に従って行動し、決して単独で動かず、高台へ避難することが重要だと強調されました。生徒たちは真剣な面持ちで話に耳を傾け、いざという時に備える意識を高めました。

保護者学級

6月21日、保護者学級を実施しました。全国各地や海外から多くの保護者の皆さまにご来校いただき、授業参観や講演、担任との個別面談を行いました。午前中の授業参観では、保護者の皆さまが温かく見守る中、生徒たちは嬉しそうな表情を見せていました。講演では、モラロジー道徳教育財団の古味美千子先生をお迎えし、「感謝の心」や「心遣い」の大切さについてお話しいただきました。



中国 台州市路桥区東方理想学校と提携調印式

4月28日、中国の台州市路桥区東方理想学校と姉妹校提携調印式が本校研修会館で行われました。

式には両校の代表者が出席し、提携に至るまでの経緯や今後の交流計画についての説明が行われた後、正式に調印が交わされました。

寄本校長は、昨年7月に蘆献総校長が来校し、明德の文化、体育、教員と生徒の関係性を気に入っていただき今回の提携に至ったこと。今後、生徒や先生方の交換留学を行い、強い関係を築いていきたいと話しました。

蘆献総校長からは、明德と同じ徳育、知育、体育が教育理念であること。同校にとって良好な関係を築き、新しい未来を作っていきたいとお話されました。

調印式終了後、台州市路桥区東方理想学校の一行は本校内を見学し、各クラブ活動の様子を熱心に視察しました。生徒たちの活気あふれる取り組みに大きな関心を寄せ、今後の交流への期待を高める機会となりました。



祖先祭

5月17日、明德神社・明德慰霊塔にて明德祭が行われました。明德祭は、私たちを日頃お守りいただいている神様に対し、今後も無事に過ごせるよう安全祈願をするお祭りです。また、創立者や学校設立にご協力いただいた先人の御霊、在校中や卒業後に事故や病気のため亡くなられた方への慰霊祭でもあります。



芋の苗植え付け

中間考査終了後、中学生が学校の畑に土佐紅いも300本を植えました。天候にも恵まれ、生徒たちは楽しそうに作業しました。ツルの植え方にも個人差があり、体験後は中学3年生が仕上げを行い、実践的な学びの場となりました。

収穫は11月。例年どおり、収穫した芋は保護者の皆様へ贈られますので、どうぞお楽しみに！



令和7年度入学式

4月10日、本校体育館にて令和7年度入学式が挙行され、309名の新入生を温かく迎えました。寄本校長からは、「多様な仲間と共に学び合い、人格を磨き、国際的視野を育てる明德の教育で大きく成長してください。努力を惜しまず、全力で挑む姿勢を大切に、一緒に頑張りましょう」とお話になりました。



在校生代表 新地海人くん（6年B組）は、「ご入学おめでとうございます。明德義塾での生活は、人として大きく成長できる貴重な時間です。失敗を恐れず挑戦し、仲間と支え合いながら充実した学校生活を送りましょう。「一刻生涯」の精神を胸に、共に歩んでいきましょう」と歓迎の言葉を述べました。

新入生代表 森田祥吉くん（1年2組）は、「本日は素晴らしい入学式をありがとうございます。憧れだった明德義塾で学べることに感謝し、困難も喜びも力に変えて全力で努力することを誓います。これからどうぞよろしくお願いします」と力強く誓いの言葉を述べました。



新入生研修



4月25日、本校食堂において中学1年生と高校1年生を対象とした「新入生校内研修」が行われました。

研修では、寄本校長が「建学の精神」「教育方針」「寮生活について」「朝・夕礼の意義」などについて丁寧に説明。また、他者を思いやる心の大切さや、学業への取り組み、クラブ活動への参加、さらには国際的な視野を持つことの重要性など、多岐にわたる内容が語られました。

そして、「より良い学校づくりのために教職員も全力を尽くします。皆さんも共に力を合わせて頑張りましょう」と新入生に向けて力強いメッセージを送り、講話を締めくくりました。

講義終了後には、生徒たちが明德神社を参拝し、新たな学校生活の始まりに向けて心を引き締めました。



「グローバル型DXハイスクール校」継続2年目校に採択

本校は2024年度より文部科学省「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」に採択され、2025年度も継続校として全国20校の重点類型「グローバル型DXハイスクール」に選ばれました。

本校の強みである「スポーツ」と「国際教育」を活かし、デジタル技術を基盤とした探究的な学びを進めています。



【主な取組内容】

◆スポーツ × デジタル学習

高性能PCや3Dプリンタ、VRなどを活用し、スポーツデータサイエンスや運動解析に挑戦。心拍数や活動日誌を数値化し、自分の成長を可視化します。



◆国際連携 × デジタル探究

AI翻訳やVR機器などを使い、海外姉妹校とともに国際課題に取り組む学習や、高校生国際会議、オンライン交流を実施します。今後も一橋大学や海外高校との連携を通じ、未来社会を切り拓くグローバルリーダーの育成を目指します。

オーストラリア姉妹校ロビーナ高校と国際ゴルフ交流合宿



6月22日から25日まで、オーストラリア・ロビーナ高校の男子ゴルフチーム8名と引率教員2名が本校を訪問し、合同合宿を行いました。練習や授業、交流会、そしてラウンドプレーを通じて、生徒たちは互いの文化に触れながら親睦を深めました。短い期間でしたが、笑顔あふれる充実した時間となりました。ロビーナ校の皆さん、ありがとうございました。See you next time！

吉田圭一塾長「ランサー・フォー・ライフ賞」受賞

5月28日、カナダの姉妹校であるダコダカレッジ高校とオンラインで接続し、本校の吉田圭一塾長が「ランサー・フォー・ライフ賞」を受賞しました。長年にわたる教育と国際交流への貢献が評価されたものです。

「ランサー・フォー・ライフ賞」は、ダコダカレッジ高校が地域社会および国際社会に対して顕著な貢献を果たした人物を称えるために創設した賞であり、学校、社会、そして世界に対して意義深い影響を与えた人物に贈られます。

授賞式では、ダコダカレッジ高校のマゼ校長が「吉田塾長の先見性と献身的な努力は、私たちの学校と地域社会に長く残る影響を与えてくれました。異文化理解と学生同士の交流を促進するその取り組みは、私たちの人生をより豊かにし、身の回りにある多様性への理解を深めることに繋がりました。吉田塾長の活動は、まさにダコダカレッジが大切にしている価値観—リーダーシップ、奉仕の心、人と人を繋ぐ架け橋を築く姿勢—を体現しています」と称賛の言葉を贈りました。

これを受け、吉田塾長は「このような賞をいただき大変うれしく思います」と感謝の意を述べたうえで、両校の交流について次のように語りました。

「ダコダカレッジと明德義塾の繋がりは1990年にスタートし、私の人生において特別な意味を持つものとなっています。これまでに約700人のダコダカレッジの生徒と先生が明德を訪れ、明德からは約300人がダコダカレッジを訪問しました。言葉や文化の違いを超えて、深い絆が育まれてきました。このプログラムが今後も若い世代の学びや成長の場となり、互いに影響を与え合う関係が続いていくことを願っています」



35年にわたる国際交流と教育への熱意が評価された今回の受賞。今後も両校の連携と友情は、教育の現場において新たな可能性を広げていくことが期待されます。

四国ソフトテニス選手権大会

第 62 回四国ソフトテニス選手権大会が 5 月 11 日、今治市営スポーツパークテニスコートで行われました。

準優勝 福島惇（6 年特進Ⅰ）・木本琉偉（6 年特進Ⅰ）

第 3 位 三田勇人（6 年 C 組）・西山友晴（6 年 D 組）



県高校春季ソフトテニス大会

高知県高等学校春季ソフトテニス大会が INOUE・東部スポーツパークで 4 月 19 日、20 日に行われ、団体・個人ともに優秀な成績を収めました。

【男子団体戦】

優勝 福島惇・木本琉偉 三田勇人・西山友晴 池島優良（6 年特進Ⅰ）・黒瀬彰大（6 年 C 組） 加藤欽基（6 年特進Ⅰ）・林寿李稀（4 年 C 組）

【男子個人戦】

優勝 福島惇・木本琉偉

第 2 位 福見優心（5 年特進Ⅰ）・林寿李稀

第 3 位 三田勇人・西山友晴

第 3 位 池島優良・黒瀬彰大

【女子団体】

優勝 佐藤由希菜（6 年 D 組）・上田椿（6 年特進Ⅰ）

今橋沙来（6 年特進Ⅰ）・弘瀬美咲（5 年 C 組）

瀧本千宝（5 年 C 組）・岡部玲亜（5 年特進Ⅰ）

岡部こころ（5 年特進Ⅰ）・川口夕奈（4 年 C 組）

【女子個人戦】

優勝 佐藤由希菜、上田椿

ベスト 8 弘瀬美咲、瀧本千宝

岡部玲亜、今橋沙来

川口夕奈、岡部こころ



県スポーツ少年団総空手道競技

高知県スポーツ少年団総合交流大会 空手道競技の部が 4 月 29 日、県立青少年体育館で行われました。

【女子個人形】

準優勝 加島 陽桜莉

【女子団体形】

優勝 加島陽桜莉・馬場琴心・本田彩楽

【男子団体形】

準優勝 川村偉飛・横田龍・横田竜

【男子個人組手】 優勝 横田 竜

準優勝 伊勢田 武典

3 位 横田 龍

3 位 川村 偉飛

【女子団体組手】

A チーム 優勝 加島陽桜莉・馬場琴心・杉本七海

B チーム 第 3 位 浅田煌（2 年 2 組）・本田彩楽・竹内千智（1 年 1 組）

【男子団体組手】

A チーム 優勝 横田竜・横田龍・伊勢田武典

B チーム 準優勝 半谷来緒（2 年 1 組）・毛利秀門（1 年 1 組）・谷本優仁（1 年 1 組）

【男子個人形】 第 4 位 半谷来緒



県高校空手道春季大会

【女子団体組手】 優勝

【男子団体組手】 A チーム 優勝 B チーム 第 3 位

【女子個人形】 第 3 位 須恵みゆう（4 年 C 組）

【男子個人形】

準優勝 西岡宏哲（6 年特進Ⅰ）

第 3 位 林武聖（4 年 C 組）

第 4 位 松本涼太（4 年 D 組）

【女子個人組手】

準優勝 浜田聖菜（6 年特進Ⅰ）

第 3 位 浜田新菜（6 年特進Ⅰ）

第 4 位 竹内実麻（5 年英語）

【男子個人組手】 準優勝 辻岡季也（5 年 C 組）



県中学校ソフトテニス春季大会

高知県中学校ソフトテニス春季大会が 5 月 5 日、INOUE・東部スポーツパークテニスコートで行われました。

【男子個人戦】 優勝 柴崎雄斗（3 年 2 組）・大平庚真（3 年 1 組）

準優勝 山本悠人（2 年 1 組）・福見哉太（3 年 2 組）

第 3 位 田代恭太郎（3 年 2 組）・宮武伊織（3 年 2 組）

ベスト 8 尾鼻珠吏（3 年 2 組）・市野燦汰（3 年 2 組）

佐藤和哉（2 年 2 組）・伊藤一志（2 年 2 組）



県ソフトテニス連盟盾大会

高知県ソフトテニス連盟盾大会が 5 月 11 日、INOUE・東部スポーツパークテニスコートで行われました。

【男子団体戦】

A チームトーナメント優勝 柴崎雄斗・大平庚真

山本悠人・福見哉太 田代恭太郎・宮武伊織

B チームトーナメント優勝 尾鼻珠吏・市野燦汰

佐藤和哉・伊藤一志 景山成（1-2）



瀬戸内さめきカップソフトテニス

第 7 回瀬戸内さめきカップソフトテニス大会が 4 月 29 日、香川県総合運動公園テニスコートで行われました。

準優勝 福見優心・林寿李稀

第 3 位 福島惇・木本琉偉



高知県空手道選手権大会

第 52 回高知県空手道選手権大会が 6 月 8 日、高知県立武道館で行われました。

【少年女子形】

第 3 位 須恵みゆう

【少年男子形】

優勝 西岡宏哲

第 3 位 林武聖

第 4 位 松本涼太

【少年女子組手】

準優勝 浜田新菜

第 3 位 竹内実麻

第 4 位 浜田聖菜

【少年男子組手】

第 3 位 川島海二（4 年特進）

第 4 位 辻岡季也



中学野球部、全日本少年大会四国大会で優勝！

高知新聞より

（13）☆ スポーツ 2025 年（令和 7 年）5 月 19 日（月曜日）

明徳中ク 全国へ EAST との県勢決勝制す

【決勝】 KOCHI EASTー明徳義塾中 5 回裏明徳中 1 死満塁、内村祥の左前打で走者 2 人が生還し、4ー0 とする（香野球場＝馬場準撮影）

日中は、香野球場で今年連続 9 度目の優勝を全日本少年大会四国大会決勝で決めた明徳義塾中が、KOCHI 明徳義塾中との決勝戦を制し、2 年連続で全国大会出場を決めた。

明徳中が優勝したのは、2003 年の第 1 回大会以来のことだ。この大会は、香野球場で今年連続 9 度目の優勝を全日本少年大会四国大会決勝で決めた明徳義塾中が、KOCHI 明徳義塾中との決勝戦を制し、2 年連続で全国大会出場を決めた。

明徳中が優勝したのは、2003 年の第 1 回大会以来のことだ。この大会は、香野球場で今年連続 9 度目の優勝を全日本少年大会四国大会決勝で決めた明徳義塾中が、KOCHI 明徳義塾中との決勝戦を制し、2 年連続で全国大会出場を決めた。

5 月 18 日、第 42 回全日本少年大会四国大会が香野球場で開催され、中学野球部が見事 2 年連続 9 度目の優勝を果たしました。この結果、8 月 10 日から横浜スタジアムで開催される全国大会への出場が決定しました。日頃の練習の成果が実を結び、全国の舞台でも、さらなる活躍が期待されます。応援よろしくお願いします！



カヌー部から日本代表選出

本校カヌー部の岡村明咲さん（4 年特進）と堅田一成くん（6 年特進Ⅰ）が、それぞれ 2025 年に開催される国際大会の日本代表選手として選出されました。岡村明咲さんは、「2025 オリンピックホープスレガッタ」の日本代表に選ばれ、9 月 18 日から 21 日までチェコ共和国ラシセで行われる大会に出場します。同大会は、次世代の五輪候補選手が世界各国から集う国際舞台であり、岡村さんの活躍が大いに期待されます。

一方、堅田一成くんは、「2025 アジアパシフィックスプリントカップ」の日本代表に選出されました。堅田くんは、5 月 8 日から 11 日まで石川県小松市の木場潟湖で開催された同大会に出場し結果は、U18 男子カヤックフォア 500m 3 位、U18 混合カヤックペア 500m 9 位、U18 カヤックシングル 200m リレー 5 位、U18 混合カヤックペア 200m 7 位でした。堅田くんは「海外の選手のスピードや身体の大きさに圧倒されながらも、自分の力を精一杯発揮することができました。代表チームの指導者や海外選手からの確かなアドバイスをいただくことができ、インターハイや国民スポーツ大会に向けて、実り多い大会となりました」と感想を述べました。

四国高等学校ゴルフ選手権女子団体優勝

令和 7 年度四国高等学校ゴルフ選手権大会が 6 月 8 日、9 日に松山シーサイドカントリークラブで行われ女子団体優勝しました。この結果により、8 月 25 日から栃木県のサンヒルズカンオリークラブで行われる全国高等学校ゴルフ選手権団体戦競技に出場します。

【女子団体】

佐藤小洛（6 年英語） 71(35・36)・71(35・36)

森本寿叶（4 年 C 組） 71(35・36)・73(34・39)

佐藤梨乃（5 年英語） 78(38・40)・78(38・40)

井村結寧（6 年英語） 79(37・42)・ —

今西早和（6 年 C 組） — ・83(40・43)



県ジュニアゴルフ選手権

5 月 17 日、パシフィックゴルフクラブで高知県ジュニアゴルフ選手権が行われました。この日は大雨のため、9 ホールの短縮競技となりました。

【高校女子】 優勝 佐藤小洛 35

【中学男子】 優勝 甲藤悠馬（3 年 1 組） 43

準優勝 宮本 佳（3 年 2 組） 45

【中学女子】 優勝 橋本優那（3 年 1 組） 37

第 3 位 小川琴海（3 年 2 組） 41



県少年少女空手道大会（全中予選）

第 43 回高知県少年少女空手道大会（全中予選）が 5 月 5 日、高知県立武道館で行われました。

【女子団体組手】 優勝

加島陽桜莉（3 年 1 組）・杉本七海（2 年 2 組）・本田彩楽（1 年 1 組）

【男子団体組手】 優勝

横田龍（3 年 1 組）・横田竜（3 年 1 組）・伊勢田武典（3 年 1 組）

【女子団体形】 優勝

加島陽桜莉・馬場琴心（2 年 1 組）・本田彩楽

【男子団体形】 準優勝

川村偉飛（3 年 1 組）・横田龍・横田竜

【男子個人組手】 優勝 横田龍 準優勝 横田竜

【女子個人形】 準優勝 加島陽桜莉



左記の選手は全中出場が決定しました。

県高校相撲春季室戸大会

高知県高校相撲春季室戸大会兼全国高校相撲金沢大会選考会が 4 月 27 日、室戸市相撲場で行われました。

【団体 3 人制】 優勝 坂本脩（4 年 C 組）、坂本遼（6 年 C 組）、アディテヤ（4 年 D 組）

【団体 5 人制】 優勝 坂本脩、坂本遼、オーダム（4 年 D 組）、浜田美汰（4 年 C 組）、北川由大加（4 年 C 組）

【個人戦】 優勝 アディテヤ

第 3 位 オーダム

団体戦 3 人制の優勝により 5/18（日）全国高校相撲金沢大会に出場しました。

県体結果

○カヌー

男子カヤックシングル **優勝** 堅田一成 1分54秒50
第5位 佐竹海頼 2分06秒86
男子カヤックペア **準優勝** 堅田一成・佐竹海頼 1分52秒11
女子カヤックシングル **優勝** 岡村明咲 2分16秒49

○ウェイトリフティング

+102kg級 **優勝** 熊健(6年特進Ⅱ)
89kg級 **優勝** 琦琦(5年特進Ⅱ)

○空手

団体組手男子 **準優勝**
団体組手女子 **準優勝**
男子個人形 **優勝** 西岡宏哲
第3位 林武聖
女子個人形 第3位 須恵みゆう
女子個人組手 **準優勝** 浜田聖菜
第3位 竹内実麻
ベスト8 浜田新菜
ベスト8 須恵みゆう

男子個人組手

優勝 辻岡季也
準優勝 仲村玲星(6年C組)
ベスト8 松崎天聖(6年C組)
ベスト8 池巧(5年C組)

○バレーボール

ベスト4

○バスケットボール

女子 **準優勝**
男子 第3位

○サッカー

準優勝

○弓道

男子個人戦 1次予選通過 陳上(6年特進Ⅰ)

○バドミントン

男子個人戦
男子シングルス 3回戦敗退 三宅雅広(6年C組)
男子シングルス 3回戦敗退 チャハンビョル(5年英語)
男子ダブルス 2回戦敗退 三宅雅広・オウ ソウエツ(5年特Ⅱ)

○硬式テニス

シングルス 1回戦敗退 吉田潤生(6年特進Ⅰ)
2回戦敗退 寺島裕成(5年中国語)
1回戦敗退 石元愛美(4年特進)
ダブルス 1回戦敗退 吉田潤生・寺島裕成

○剣道

男子団体 1回戦敗退

○ソフトボール

1回戦敗退



○ソフトテニス

男子団体 **優勝**
個人 **優勝** 福島惇・木本琉偉
準優勝 福見優心・林寿李稀
第3位 杉原鈴夢(6年D組)・池田陸人(6年D組)
第3位 三田勇人・西山友晴
第5位 高橋稜(6年D組)・加藤歡基
第6位 添田玲音(4年特進)・前川遼(4年C組)
第7位 池畠優良・黒瀬彰大
第8位 野本旺莉(5年特進Ⅰ)・黒羽優成(4年英語)
女子団体 **ベスト4**
個人 **優勝** 弘瀬美咲・瀧本千宝
第4位 佐藤由希菜・上田椿

○相撲

団体 **優勝**
個人戦 **優勝** オーダム
準優勝 アディテヤ
体重別80kg級 **優勝** 坂本脩

○柔道

団体 **優勝**
男子個人
81kg級 **優勝** 國澤天晴(5年C組)
90kg級 **優勝** スクバットエンフオチラル(6年E組)
準優勝 大崎優笑(6年C組)
100kg級 **準優勝** 野口侑真(6年C組)
第3位 岡林大翔(4年C組)

○卓球

団体男子 **優勝**
団体女子 **優勝**
男子ダブルス **優勝** 齋藤俊太郎(6年中国語)・内山晃伸(6年中国語)
準優勝 福永旭(4年中国語)・中川翔太(4年中国語)
第3位 長谷川琳(4年中国語)・渡邊聡太(4年英語)
第3位 西川颯人(4年中国語)・劉 竑毅(5年D組)
女子ダブルス **優勝** 吉田璃乃(4年中国語)・駒瀬あゆみ(4年中国語)
準優勝 石井理央(5年中国語)・小橋萌加(5年中国語)
第3位 竹本薫乃(6年中国語)・青井里穂(5年中国語)
男子シングルス **優勝** 齋藤俊太郎
準優勝 内山晃伸
第3位 西川颯人、中川翔太
ベスト8 福永旭、劉竑毅、朱俊霖(6年E組)、長谷川琳
女子シングルス **優勝** 吉田璃乃
準優勝 渡邊心葉
第3位 駒瀬あゆみ
ベスト8 小橋萌加、石井理央、立川釉菜(5年中国語)、大吉悠加(4年中国語)

○野球

Aブロック **優勝**



Youは何しに明德へ?

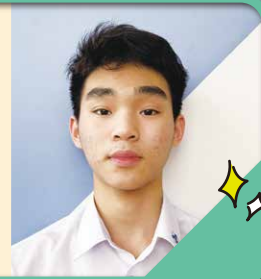
Why did you come to Meitoku?



4年日本語Ⅰ組

リー グエン ホイ (ベトナム/合氣道)

私は、ベトナムから来た留学生です。私の家族はみんな、海外で勉強していました。私には2人の姉がいて、一人の姉は以前、日本に留学していました。その姉から、いろいろな話を聞いて、日本の教育や生活にだんだん興味を持つようになり、留学することを決めました。明德は学習環境が整っていて、たくさんの国の人がいるので、国際的な視点も身につけられる学校だと思いました。私もこの学校で成長し、将来の夢や目標に向かって努力していきたいと思います。



4年日本語Ⅱ組

チェ・ソヨン (韓国/和太鼓)

私は、明德に来たことが今年一番よかったことだと思います。正直、最初は不安なことがたくさんありました。言葉が通じず友達ができなかったらどうしよう、授業の進度についていけるか心配だ、と思っていました。でも今は、たくさんの日本人の友達ができ、楽しい部活にも参加しながら、充実した学校生活を送っています。そして、新しい目標もできました。それは、勉強を一生懸命がんばって、来年竜キャンパスに入ることです。もっといろいろな人と話し、日本人の生徒と一緒に授業を受けたいです。



4年日本語Ⅲ

レイザイデン・ウブリ (中国/合氣道)

私が明德義塾高等学校を選んだ決め手は、学業と人間的成長の両方を実現できると思ったからです。明德は高い進学実績があり、手厚い指導が受けられます。実際に、先生方は親身にサポートしてくださり、志望校合格に向けた確かな道筋を示してくれています。私は今、明德を選んで良かったと思っています。寮生活による先生や仲間との規律正しい共同生活は自立心と責任感を育む最高の環境です。また、私は合気道部に所属していて、部活動を通じて技術を磨くだけでなく、日本や世界各国の仲間と深く交流し、チームワークや忍耐力を養っています。学業との両立を図れることは、ここでしかできない貴重な経験だと思っています。明德は単なる知識習得の場ではなく、将来にわたって役立つ「人間力」を総合的に伸ばせる場所だと確信しています。



4年特進

片岡 峻 (高知県/ソフトボール)

私が明德義塾高等学校に入学したきっかけは、先輩がこの学校に通っていたことと、好きなソフトボールを続けながら大学進学を目指したかったからです。入学当初は、朝早く起きることや掃除など身の回りのことを自分でできるか不安でしたが、今では寮生活にも慣れ、朝もしっかり起きて掃除をするなど、部屋をきれいに保てています。特進コースの授業は全教科、特に英語が大変ですが、将来、警察官を目指すためにも大学進学に向けて頑張っています。3年後は英語が得意になり、ソフトボールも続けながら希望する大学に合格したいです。寮生活で身につけた自立心と、勉強とソフトボールの両立を通じて、将来の夢である警察官への道筋をしっかりと築いていきたいと思っています。



4年英語

渡邊 聡太 (東京都/卓球)

僕は卓球をしたいと思い、明德義塾高校に入学しました。卓球は小学校3年生から続けています。普段のクラブ活動では、一球練や多球練などを行っています。3年間クラブ活動をしていく中で、1度は全国大会に出場したいです。僕は卓球だけでなく、勉強もきちんとやらなければいけません。卒業までに英語検定2級に合格できることを目標に、勉強も頑張っていきたいです。また、3年後に明德を卒業したとき自分自身が「ここを選んで良かった」と思える日々を送っていけるよう、今後の学校生活を送っていききたいです。



4年中国語

岡崎 颯音 (宮城県/卓球)

私は小学校から習っている卓球をするために明德義塾に入学しました。明德での生活では、ルールが多く、大変だと思うこともありますが、ルールをしっかり守って規則正しい生活を送ることができていると思います。部活動では卓球の技術をさらに磨いていき、寮生活を通して道徳心を鍛えていきたいです。長期休暇や卒業後などに地元に戻ってきたとき、自分の家族やこれまで自分を応援してくれた人たちに私が成長した姿を見せられるように頑張ります。そして、今までお世話になった人たちへ恩返しができるようになります。



1年1組

岡崎 晃貴 (高知県/柔道)

僕は明德に柔道を頑張りたくて入学しました。小学4年生から柔道を始め、県大会優勝と全国大会出場を夢に頑張ってきました。これから先、学校生活も大事にしながら、どんなに厳しい練習も乗り越えて、明德で心身ともに成長して、全国大会優勝を目標に頑張っていきたいです。



1年2組

下川 拓海 (高知県/中学サッカー)

僕が明德に入学したのは、勉強とサッカーの両方を高いレベルで頑張れると思ったからです。勉強では、自分が将来入りたい大学があり、その目標に近づくために、留学生もいて刺激のある環境で学びたいと思いました。サッカーでは、小学校のときに叶えられなかった全国大会出場という夢を実現したくて、明德を選びました。実際に入学してみると、勉強では中間テストで学年上位に入ることができ、自分でも手ごたえを感じています。サッカーでは、小学校のときには気づかなかった自分の課題がいくつも見つかりました。でも、先輩たちがいろいろとアドバイスをくれて、少しずつ成長できていると思います。今はもっと積極的になれるように、まわりの人としっかりコミュニケーションを取ることを意識して過ごしています。



4年A組

阿部 春人 (長野県/高校野球)

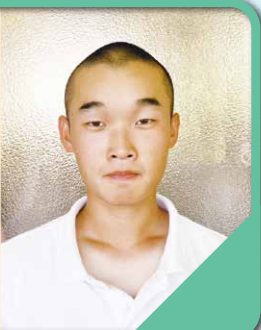
僕が明德義塾に来た理由は、人間的に成長し、野球では日本一になりたかったからです。地元では経験できないような高いレベルの環境で同じ目標を持つ仲間たちと切磋琢磨しながら人間的にも技術的にも成長できると思いました。実際に入学してからは、厳しい練習や寮生活の中で精神的、肉体的に鍛えられています。時には苦しいこともありますが、「日本一になる」という目標が自分を支えてくれています。3年後にはチームの中心選手として甲子園で活躍し、目標をつかみたいです。そのために日々の練習や生活を大切に、常に向上心を持って取り組んでいきます。



4年B組

田内 望夢 (広島県/高校野球)

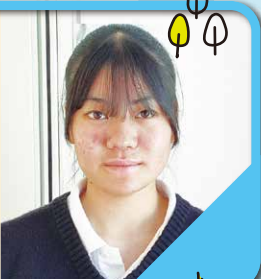
夢の舞台「甲子園」で野球がしたい。小さい頃から野球を始め、とある試合を見たことをきっかけに甲子園でプレーをしたいと思い始めました。その試合とは、2021年の夏の甲子園準々決勝、明德義塾対智弁学園の試合です。吉村優聖歩さんのピッチングや代木大和さんのホームラン、話題になった試合後の声かけ、そして明德の縦縞ユニホーム、そのどれもがとてもしっかりと、自分も明德のユニホームを着て、甲子園に行きたいと思い明德義塾高校に来ました。今頑張っていることは、毎日練習があるので自分の課題を先輩に聞いたり、自分でやってみたりすることです。他にも、寮生活で、自分のことを全て自分でやることも大変ですが頑張っています。



4年C組

小林 杏 (大阪府/女子ソフトテニス)

私が明德に来た理由は勉強のペースが自分に合っていて、ゆっくりと学べると思ったからです。また、ソフトテニス部が強く、自分ももっと強くなりたいと思ったことも理由の1つです。さらに、親元を離れ、寮生活を送る中で、自分のことは自分でやらなければならないという環境が、自分を大きく成長させてくれると感じています。これからもこの厳しい環境にしっかりと耐え、明德での生活を不安なく過ごせるように、そして成長した姿を両親に見せられるように努力していきたいと思っています。



4年D組

北西 雛 (兵庫県/女子バスケットボール)

私が明德に入学を決めた一番の理由は、部活動に力を入れたかったからです。中学時代の顧問の先生に「強いチームでもまれて強くなしてほしい」と言われ、その言葉に背中を押されました。二つ目の理由は、全国から集まった仲間たちと出会い、共に切磋琢磨したいと思ったからです。そして三つ目は、寮生活です。家族のもとを離れて自立した生活を送ることが、自分の成長につながると考えました。これらの理由から、私は明德への進学を決めました。



わたしの
イチオシ!ソクラテス・カフェに
ようこそ

(著:クリストファー・フィリップス /光文社)

6年英語/近藤啓日(高知県出身)

題名にある「ソクラテス・カフェ」というのは、著者が米国各地で催した哲学に興味のある人を集めて議論をする場です。本書は、数々の議論の中で行われた対話によって構成されていて、それを通して「問いかけること」という哲学の初歩的かつ最も重要な行為の仕方を私たちに暗示し、吟味するように促し、最終的に「日常的な行為としての哲学」として私たちの中にそれを確立させてくれるのです。間違いなく直接的に哲学を手取り足取り「教えてくれる」ものではありませんが、問いかけること自体が何なのかを問いかけるよう促し、私たちを哲学の自然な理解へ導いてくれます。哲学への関心も知識もない、というような人でも十分理解し、深みに入り込んでいけるよう書かれていると思います。最初こそとっつきにくさを感じるかもしれませんが、読み進めるうちに惹かれるものがあるので、ぜひ一度手に取ってみてください。

6年生図書委員が
中学1年生に読み聞かせ

いろいろな国の生徒がいる明德で
大切にしてほしい心を伝えるために

5月19日、中学1年生対象とした竜キャンパス図書室オリエンテーションの中で、図書委員代表の青野樹理さん(6中)と福田民枝さん(6英)が、絵本『私の国は海のむこう: My country is on the other side of the ocean』(秋間恵美子文、東京出版社)を読み聞かせしました。

この本は、外国から来た1人の少女が、みんなから「へんなの」と言われて涙し、自分の名まえや言葉を日本人に合わせ、いつの間にか本当の自分を見失ってしまいます。しかし、ある日テレビから流れてくる懐かしい母国の映像を目にしたことで、生まれた国の言葉や文化を思い出し、自分らしさを取り戻します。そして、母国と日本、さらには他の国々との架け橋になろうと決意する異文化理解、異文化共生をテーマとしたお話です。

この物語は、これまで留学生と交流しながら共に生活してきた青野さんと福田さんが、明德での経験を通して実感してきたことそのものであり、後輩にも伝えていきたいという気持ちから選ばれました。

この物語は、日本語と英語で書かれており、日本語を青野さん、英語を福田さんが担当しました。心をこめた青野さんときれいな英語の福田さん。少し緊張していましたが、二人で何度も練習したおかげで1年生は真剣に聞きっていました。その後、福田さんのカナダ留学の経験や、青野さんが独学で韓国語を勉強していることも話し、1年生はみな目を輝かせて先輩の言葉に耳を傾けていました。



流浪の月

(著:風良ゆう/東京創元社)

4年C組/川口夕奈(愛知県出身)

「愛ではないけど、そばにいたい」

当時、19歳の大学生の文と小学生の更紗。おばさんの家で厄介者扱いをされていて、居場所のなかった更紗を救ったのが文だった。しかし、それは世間から見れば、大学生が小学生を誘拐したことになる。

時間が経ち、大人になり再会をした二人が、周囲を巻き込みながら疾走を始める物語になります。愛とは違うけど、二人でいたい。ラブコメとは違い、斬新で面白いので、おススメです。また、登場人物の視点から見られるところも、この本の魅力です。



車がとどくまで

(著:武良竜彦 /岩崎書店)

6年日本語2組/バヤンサン トゥブシンサイハン(モンゴル出身)

皆さんは、車はどんなものだと思っていましたか?私は小さい頃、車はただの鉄のかたまりで、タイヤがついているだけのものだと思っていました。皆さんも、そんな風に思っていたことはありませんか?私は、車のエンジニアになる夢があり、車がどうやってできているのかに興味がありました。この本で、車の中のたくさんの小さな部品がどう作られ、どう組み立てられて、最終的に私たちの手に届くのかを学びました。工場では、人とロボットが協力して、細かくて正確な作業をしていることも知りました。この本は、車が好きの人だけでなく、たくさんの人に読んでもらいたいです。なぜなら、私たちは毎日のように車を使っていて、その裏には多くの人の努力があるからです。車に興味のある人も、ない人も、ぜひ読んでほしいと思います。

うまくいっている人の
考え方(完全版)

(著:ジェリー・ミンチントン /ディスカヴァー・トゥエンティワン)

6年英語/塩田竜之介(高知県出身)

この本を手にとった理由は、タイトルそのものに惹かれたからです。私は、日頃からいろいろな人の様々な考え方を知るのが好きで、ネットや新聞等の多種多様な意見を書いたものを読むだけではなく、実際友人達ともよくディスカッションをしています。

この本からは、まさにタイトル通りにいろいろな考え方を知ることができます。実際にこの本を読み、共感できる部分があれば、自分の考えとは少し違うところもありましたが、今までは感じたこともなかった新しい視点を持つことができ、とても勉強になりました。普段生活していく中で不安を感じることや、何を信じていいのかわからなくなる事は少なくないと思います。そんな時、このような本を読むことで、自分が信じているものが本当に正しいか再確認し、新たな考え方を得ることはとても有意義なことです。是非一度、目を通してみてください。



まずはこれ食べて

(著:原田ひ香/双葉社)

教員/丁野りえ子(高知県出身)

私は食えることが大好きです。美味しいご飯を食べると、今日も頑張ったよかったな、まだまだ頑張れそう!と思います。そんな私が夢中になった本が、原田ひ香さんの「まずはこれ食べて」です。様々なことに疲れてしまった人たちが、ちょっと不思議な家政婦さんの作る料理を通して、ちょっとずつ元気になっていく物語です。カレーうどんや鯛めしなど、どの料理もとても美味しそうで、読んでいるとお腹がすいてきて今度これ作ってみよう~と思ったりします。でも、ただの「食べる小説」ではなくて、現代における複雑な人間関係や心の変化なども細かく描かれていて、読み終わったあとは暖かい気持ちになります。食えることが好きな人や、ちょっと疲れている人にこそ読んでほしい1冊です。



カフェ

(著:阿部暁子/講談社)

職員/西尾愛(高知県出身)

急死した弟春彦の遺志に従い、弟の元恋人野宮桜子に会うことになった薫子。彼女には反感しか持っていなかったのに、なぜか薫子は、桜子の家事代行というボランティアを手伝い始めることになる...

生きづらさを感じながらも生活は続いていく。人にはそれぞれ悩みや他人に言えないものを抱えながら生きている。自分をよく見せようとしたり、見栄を張ったり...

自分の見えているものがすべてだと思いがちになるけれど、きっとそれは間違いで、人にはいろんな面があり、出会いで人は変わっていく。この二人の場合も...

料理担当の桜子、掃除や片づけ担当の薫子。二人は依頼のあった家庭で出会った人たちの暮らしを整えることで、その人たちの心をも整え助けていく。

「家」という限られた空間の中で見え隠れするもの。外からは見えにくい家庭環境や問題、その中に入っていく依頼者のリクエストにこたえ、とても丁寧につくりだされる料理はどれもおいしいそう。

部屋がきれいに整頓され、美味しいものを食べるだけで幸せになることがある。些細な、小さな気づきが沢山散らばり、広がっている。

美味しいものを食べた記憶は残る。いつ、誰と...

「食べることは生きること」最後は包み込んでくれるような心がほっこりする優しさの残る作品です。

(今年の本書大賞受賞作)



女子団体 歴代最多 6 度目の全国制覇！

男子団体も健闘の 3 位入賞！



第 26 回全国中学選抜卓球大会が、3月29日・30日の2日間にわたり、富山県総合体育センターで開催されました。本校からは男女団体が出場し、女子団体が見事優勝（通算6度目）を果たし、男子団体も全国3位という素晴らしい成績を収めました。

女子団体は、3年連続の決勝進出という快挙を成し遂げ、接戦の末に全国の頂点に立ちました。1対1で迎えたダブルスは、互いに譲らぬ展開となりましたが、粘り強く戦い抜き勝利。続く4番シングルスもストレートで制し、歴代最多となる6回目の優勝を果たしました。



男子団体も、エースの柳本くんを中心に全員が持ち味を発揮。総力戦でベスト4入りを果たし、全国3位という堂々たる成績を収めました。

両チームの健闘は、日々の努力と支えてくださった多くの方々のおかげです。応援ありがとうございました。



全日本中学生 ソフトテニス大会準優勝

第36回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会が3月27日に三重県伊勢市市営庭球場で行われ個人戦男子ダブルスで準優勝しました。

個人戦男子ダブルス準優勝
山本悠人・福見哉太



全日本私立高等学校選抜 ソフトテニス大会3位

第59回全日本私立高等学校選抜ソフトテニス大会が3月24日、横浜国際プールで行われ、高校男子ソフトテニス部が団体で3位の成績を収めました。

男子 団体戦3位
福島惇・木本琉偉 三田勇人・西山友晴
福見優心・加藤歆基 高橋稜・池田陸人



全国高等学校 空手道選抜大会3位

第44回全国高等学校空手道選抜大会が3月24日～27日に和歌山ビッグホールで行われ女子団体組手3人制で3位の成績を収めました。

女子団体組手 浜田新菜
浜田聖菜
竹内実麻



第 64 回英語劇公演 『Aladdin』

6月27日、第64回英語劇公演「アラジンと魔法のランプ」が土佐市の「つな一で」で行われました。今回は舞台をウズベキスタンに置き、コミカルな要素を加えた楽しい演出に。美術部とESCの協力で華やかな舞台が完成しました。国際演劇部としての最後の公演となり、キャプテンの川村環さんは「みんなのお陰で感動の舞台になりました」と涙ながらに語ってくれました。